



目黒区 [概要版] 環境基本計画

平成24年3月



目黒区

計画の基本的事項

環境保全

計画改定の背景

平成 19 年 7 月に「目黒区環境基本計画（平成 14 年 7 月策定）」の改定を行ってから、5 年が経過しました。

この間、国では温室効果ガス削減の取組を強化するための法改正や、生物多様性の保全のため、「生物多様性基本法」が制定されるなど、環境行政を取り巻く状況は大きく変化してきました。

加えて、平成 23 年 3 月の東日本大震災の発生により安全安心への区民の関心が高まるとともに、放射性物質対策や節電への啓発、再生可能エネルギーの普及など環境負荷低減への取組が求められています。

こうした社会経済状況を踏まえ、目黒区環境基本計画を改定しました。

計画の期間

本計画の計画期間は平成 24 年度から 10 年間とします。

ただし、計画の進捗状況や区を取り巻く社会経済状況の変化に合わせ、概ね 5 年ごとに、計画の見直しを行います。

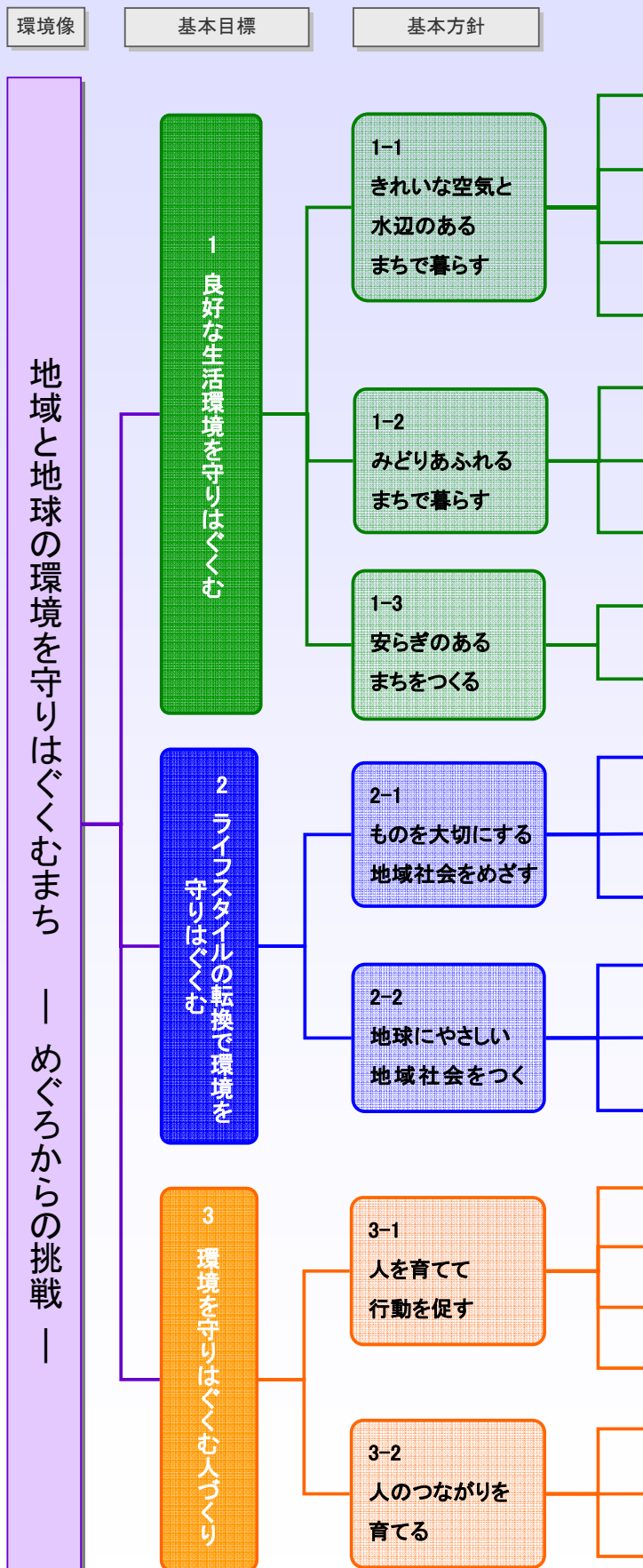
計画の対象範囲

本計画は、区内全域を対象地域とし、次に掲げる分野を対象範囲とします。

自然環境	生活環境	都市環境	地球環境
水辺、みどり、生物 等	大気、水、土壌、騒音、振動、化学物質(放射性物質含む)、廃棄物・資源 等	交通、道路、公園、緑地、歴史的・文化的資源、市街地整備 等	地球温暖化、その他地球環境問題(オゾン層の破壊、天然資源の枯渇 等)



目黒区総合庁舎



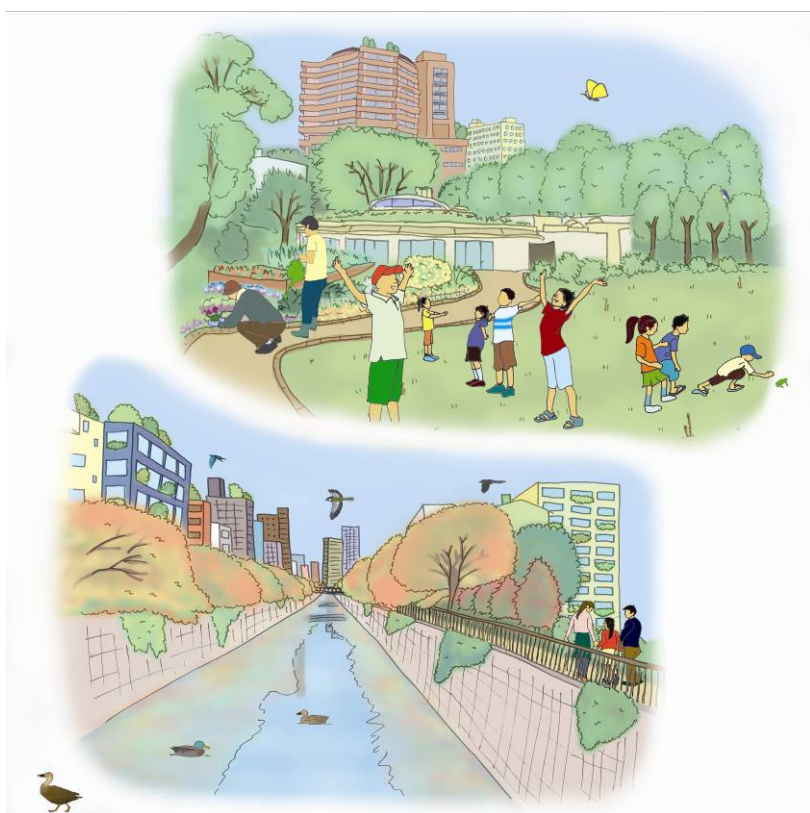
施策の体系



目黒区総合庁舎屋上庭園
「目黒十五庭」

施策の目標	主な施策	重点プロジェクト
1-1-1 大気環境の保全	大気環境の監視・情報提供、工場・事業場への排出規制の実施、光化学スモッグ対策 等	● 【テーマ 1】 地形・地勢を意識した 風とみどりと生き物の ネットワークづくり
1-1-2 水環境の保全	水環境の監視・情報提供、河川水質浄化、工場・事業場への排出規制の実施、等	
1-1-3 有害物質による汚染の防止	工場跡地等の土壌汚染対策、アスベスト対策、化学物質の適正管理、放射性物質への対応	
1-1-4 身近な生活環境の保全	自動車交通騒音・振動の監視、工場等への指導、騒音沿道対策 等	
1-2-1 街なかのみどりの保全	みどりの拠点の保全、住宅地のみどりの保全、開発・建築行為の際のみどりの確保	
1-2-2 身近な場所にみどりを育てる	民有建物における緑化の推進・支援、身近な公園・緑地の確保と質の向上 等	
1-2-3 都市の生物多様性の確保	生物多様性地域戦略策定と運用、自然・生き物の実態の把握と生き物情報の提供 等	
1-3-1 きれいで住み心地のよいまちづくり	地域美化活動支援、吸い殻等のポイ捨て・犬のふん放置などのマナー普及啓発	
1-3-2 街並み景観の向上・歴史的文化的資源の活用	地域特性に応じた良好な街並み景観の形成、景観資源や歴史・文化的資源の保全 等	● 【テーマ 2】 節電からはじめる ライフスタイルの 転換
2-1-1 ごみの発生抑制	ごみ減量・ものを大切にするライフスタイルの普及啓発、家庭ごみの減量、事業ごみの減量	
2-1-2 円滑な資源循環	資源回収の推進、リユース・リサイクル文化の提唱と発信 等	
2-1-3 ごみの発生抑制	安全・適正なごみの収集と処理 等	
2-2-1 低炭素ライフスタイルの普及	省エネ行動の提案・推進、エコ住宅の啓発、家庭への再生可能エネルギー・省エネルギー機器普及・導入 等	
2-2-2 事業活動の低炭素化	商店街の環境配慮行動支援、環境にやさしい自動車の普及促進 等	
2-2-3 ヒートアイランド現象の緩和	ヒートアイランド対策としての緑化の推進、人工排熱の低減、保水性舗装・遮熱性舗装の整備	
3-1-1 環境教育・学習の推進	環境学習推進方針の作成、環境学習機会の提供、学校等における環境学習の推進 等	● 【テーマ 3】 地球温暖化対策の 推進
3-1-2 環境情報の提供	環境情報の一元化 等	
3-1-3 人材や活動団体の育成	地域の環境配慮活動団体の支援、環境推進員等の育成・支援、人材バンクの創設・活用 等	
3-1-4 事業者の取組の促進	環境に配慮した事業活動の促進 等	
3-2-1 地域の環境保全活動の活性化・ネットワーク化	環境配慮活動団体のネットワーク化 等	
3-2-2 区民・事業者・区のパートナーシップの構築	区民・団体・事業者のパートナーシップによる環境施策の推進	
3-2-3 地域を越えた広域的な連携	他地域との連携による取組の推進	

●は施策に関連のある
重点プロジェクトを
示しています



イメージ・ビジョン

私たちの身の回りには、すがすがしい空気や水があり、健康的に暮らすことができます。愛着のある街並みにはみどりがあふれ、野鳥をはじめとする様々な生き物が見られ、都会の中でも季節を感じることができます。

こうした将来像を目標に、生活環境や生物多様性を含めた都市環境の保全を通じて、区の環境そのものの質を高める施策を展開します。



基本方針 1-1

きれいな空気と水辺のあるまちで暮らす

日々の暮らしや事業活動が、地域の生活環境にどのように影響しているかを継続的に調査・分析し、公表します。

生活環境の悪化の未然防止を図り、安全で快適な生活環境の保全を目指します。

基本方針 1-2

みどりあふれるまちで暮らす

区内に残された貴重なみどりの保全に努めます。また、公園等の整備や公共施設の緑化を進め、生物多様性の観点から、みどりの拠点とネットワークづくりに取り組みます。

基本方針 1-3

安らぎのあるまちをつくる

地域に暮らす人々が、安らぎを享受できる地域社会の形成を目指し、まちの美化や地域特性に応じた良好な景観の形成を進めます。

※以下、現状は H22 年度の数値です。

環境指標	現状	目標（H33 年度）
環境基準達成率（大気・水質・騒音等）		
・大気環境：沿道の窒素酸化物濃度測定結果	—	全地点達成
・水 環 境：目黒川の水質測定値	—	全月達成
・騒 音：沿道の交通騒音測定結果（常時監視）	—	全 6 地点（昼間・夜間）で、 区の目標を達成
区民満足度（環境に関するアンケートの新規項目） （例）空気のきれいさ（排気ガス、悪臭等） 等	—	平成 24 年度実績+10%

環境指標	現状	目標（H33 年度）
みどりの量を把握する指標		
・緑被率	17.1% ^{*1}	平成 27 年度までに 20%
・公園・ひろば等の面積	49.01ha ^{*2}	52ha
みどりの質（生物の豊かさ）を把握する指標		
・タンポポ、ツバメ等の指標在来生物種の分布率	37%	50%
みどりの質（効用や人との関わり）を把握する指標		
・公園等で活動を行う登録団体数	91 団体 ^{*3}	100 団体
区民満足度（環境に関するアンケートの新規項目） （例）自然やみどりの豊かさ 等	—	平成 24 年度実績+10%

^{*1} 平成 15 年度の数値

^{*2} 平成 23 年 4 月 1 日現在

^{*3} 2000～2011 年までの累計

環境指標	現状	目標（H33 年度）
区民満足度（環境に関するアンケートの新規項目） （例）まちの清潔さやきれいさ （たばこや缶のポイ捨てなどがない） 景色や街並みの美しさ 等	—	平成 24 年度実績+10%

基本目標 2 ライフスタイルの転換で環境を守りはぐくむ



イメージ・ビジョン

リユース・リサイクルなどものを大切にする暮らしに、エネルギーを効率よく生み出し使用する最先端の技術と、すだれや打ち水等の昔ながらの和の知恵が融合し、新しい暮らし方として浸透しています。

この暮らし方は、「めぐろスマートライフ」として広く認識されています。

環境にやさしい暮らし方を取り入れることにより、人々は快適な都市生活を享受しつつ、資源やエネルギーが無駄なく効率的に利用され、ごみや二酸化炭素等の環境への負荷が大幅に削減されています。

こうした将来像を目標に、環境にやさしいライフスタイルや事業活動への転換を図ります。

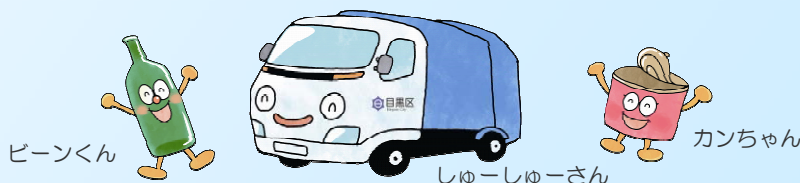
基本方針 2-1

ものを大切にする地域社会をめざす

地域との連携により、3Rをはじめとしたリユース・リサイクル文化を提唱・発信します。

「ごみ」に対する認識を「資源」へと転換し、ものを大切にするライフスタイルの普及に取り組みます。

環境指標	現状	目標（H33年度）
ごみ量 ＝区が収集したごみ（燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ）		
・総排出量	54,480t	42,163t
・排出ごみ量の削減率（平成17年度比）	16.0%	平成28年度までに35%
リサイクル率	27.9%	平成28年度までに40%



紙芝居「ごみじゃないよ、しげんだよ」より

基本方針 2-2

地球にやさしい地域社会をつくる

区民、事業者が二酸化炭素の排出が少ない暮らし方、働き方を選択することで、持続可能な地球にやさしい地域社会づくりに取り組みます。

環境指標	現状	目標（H33年度）
温室効果ガス排出量（平成16年度比）	1,221 千 t-CO ₂ eq ^{*1} +3.3%	1,101 千 t-CO ₂ eq 平成24年度までに －5%以上

*1 平成20年度の数値



つけっぱなしはやめよう！



冷暖房の温度を適切に！



イメージ・ビジョン

地域の環境、さらには地球規模の環境をよくするため、世代や職業、地域の枠を越えて、多くの人や団体が連携して活動しています。

また、子どもたちも、「めぐろ」に愛着をもち、都会にありながら自然とのつきあい方を身につけています。

人々は、環境に与える負荷を十分に認識して、ごく自然に環境保全に取り組んでおり、多様なツールから環境に関する情報を得て、発信しています。

こうした将来像を目標に、地域で活動している人々や団体と連携しながら、人づくり・組織づくりを支える横断的な施策を展開します。

基本方針 3-1

人を育てて行動を促す

環境学習の推進、環境情報の提供により、区民一人ひとりの環境問題に対する関心を高めます。

また、積極的に区の環境保全に関わる人材や活動団体を育成し、活躍の場を提供することで、区民の環境意識や参加意欲の向上を図ります。

環境指標	現状	目標（H33年度）
環境推進員養成講座修了者数	63人	263人
環境保全活動参加経験率（アンケート新規項目）		
・打ち水、まちの清掃活動等	—	平成24年度実績＋10%
区民満足度（環境に関するアンケートの結果） （例）区からの環境に関する情報の提供	—	平成24年度実績＋10%
エコプラザで実施する講座の満足度	—	80%

基本方針 3-2

人のつながりを育てる

エコプラザを拠点とした環境配慮活動団体のネットワーク化を図り、環境活動に取り組む人や団体同士の交流や連携を図ります。

また、区民・事業者・区のパートナーシップや他都市との連携により、取組の主体や、地域を越えた環境課題に対する取組の効果を一層高めます。

環境指標	現状	目標（H33年度）
目黒区立エコプラザ登録団体数	8団体	38団体（3団体/年）
環境配慮活動団体への助成件数 （エコライフめぐろ推進協会の助成制度）	—	100件（10件/年）
環境配慮活動団体交流会への参加人数	59人	100人



環境配慮活動団体交流会（目黒エコプラザ）

重点プロジェクト

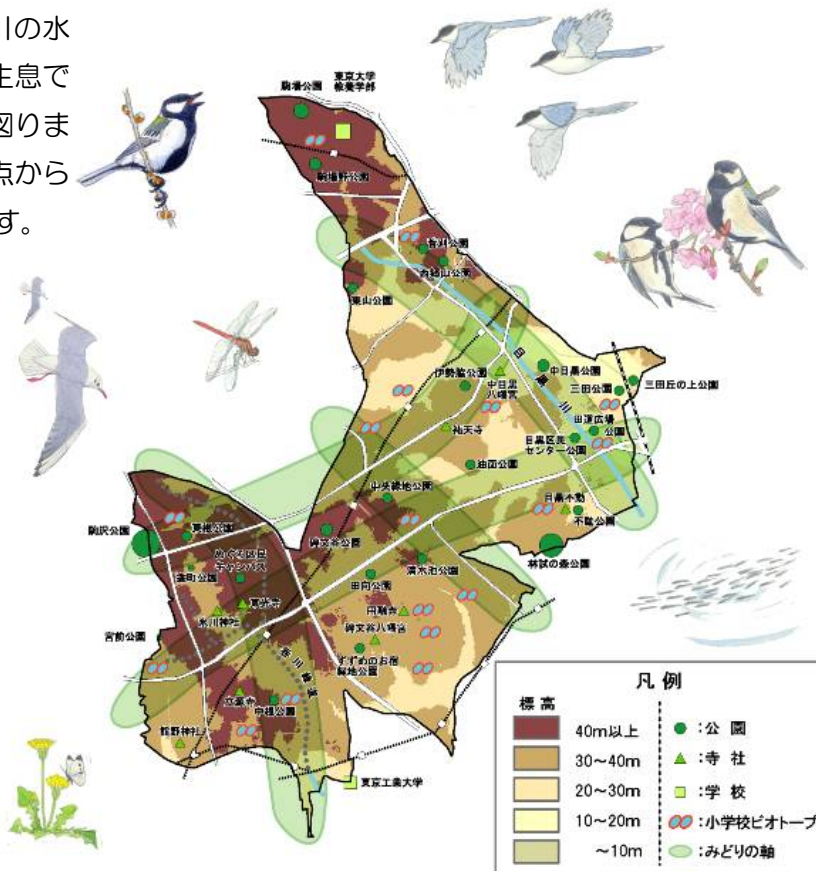
本計画の目標を達成する上で、優先して展開する重点プロジェクトを設定し、推進します。

テーマ1 地形・地勢を意識した風とみどりと生き物のネットワークづくり

核となる大規模なみどりの保全や目黒川の水質改善、小さなみどりや水場等の生き物が生息できる場所（ビオトープ的な地点）の創出を図ります。生き物の生息環境の向上を通じて、拠点から面へ風と生き物が行きかう環境を形成します。



中根小学校のビオトープ



風とみどりと生き物のネットワーク イメージ

テーマ2 節電からはじめる ライフスタイルの転換

環境にやさしい行動を賢く選択する暮らし方を「めぐろスマートライフ」と名付け、「目黒ブランド」として確立することを目指し、区民・事業者等へ新しいライフスタイルを提案するしくみ・場をつくります。



駒場野公園での炭焼き

テーマ3 地球温暖化対策の推進

中長期を見据えて地球温暖化対策地域推進計画の見直しを図り、住環境整備や取組の見える化により、未来へ広がる目黒の低炭素社会の実現を目指します。



エコドライブ



省エネナビ

計画の効果的な推進に向けて



■ 環境保全に関する取組の進行管理

計画に掲げた環境保全施策及び重点プロジェクトについては、引き続き PDCA（計画、運用、点検、見直し）サイクルによる進行管理を行います。

■ 環境指標

基本方針ごとの目指す環境の水準を表す指標です。原則、数値目標を設定しています。

客観的な指標

環境の状態
環境負荷の状態

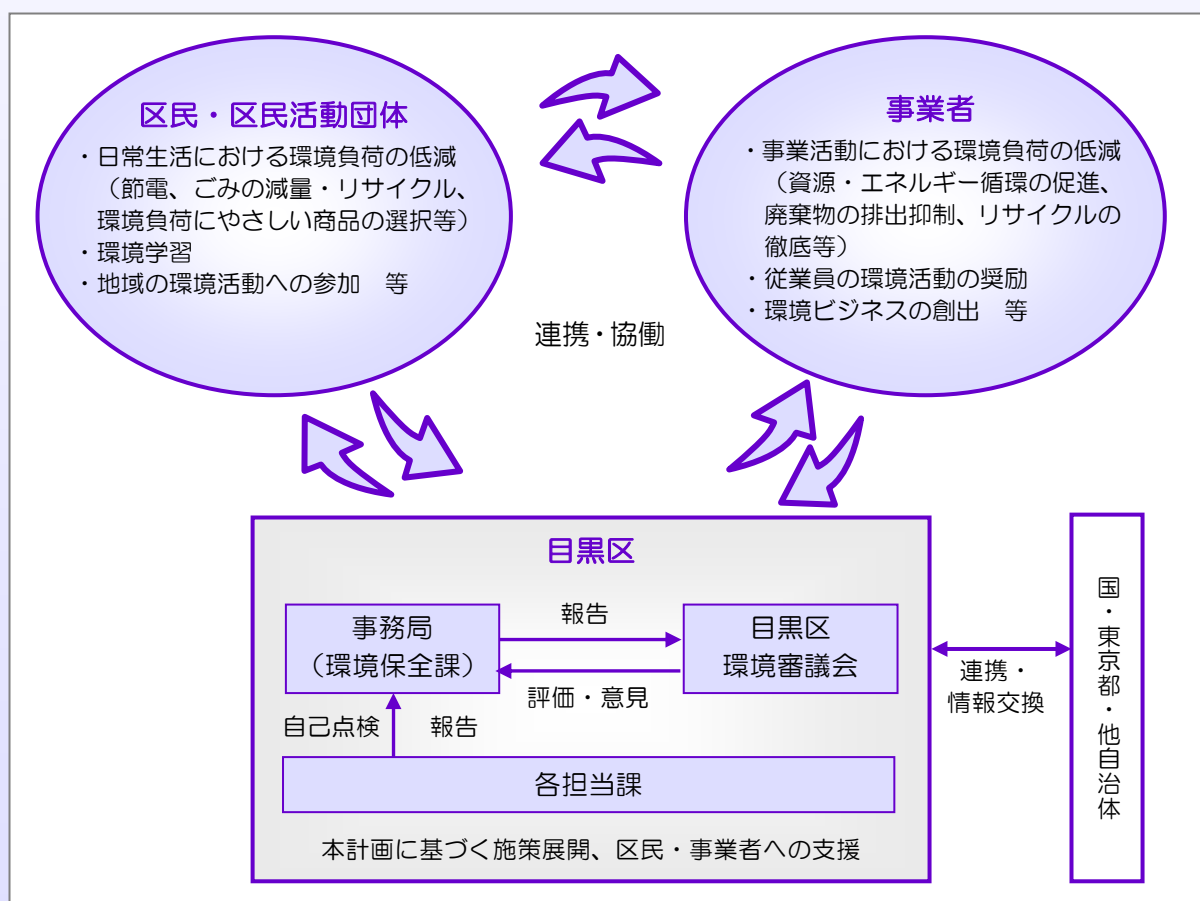


体感的な指標

区民の環境への満足度
(区民アンケート結果)

※環境の状態や負荷を表す従来の指標に加え、区民の満足度を示す体感的な指標を導入しました。

■ 計画の推進体制



目黒区環境基本計画

〔概要版〕平成24年3月発行

主要印刷物番号

23-44号

発行

編集

編集協力

目黒区

目黒区環境清掃部環境保全課

東京都目黒区上目黒2丁目19番15号

電話 03-3715-1111（代表）

株式会社プレック研究所

